



**①砂田木徳堂と古道**  
砂田の木徳堂に古道がそのまま残っている。この辻堂の梁などには、参拝者が記した文字が残っており興味深い。



**④今高野山総門(仁王門)**  
「今高野山」の総門として室町時代に建立された。屋根や仁王像の囲い等は後世の補修だが、建立当初の姿を今もとどめている。



**⑥宇津戸常夜灯**  
短いながら、かつての宿場町の雰囲気を残す街並みの旧国道沿いにある常夜灯。道は宇津戸の街の中心である観音寺に向かっている。



**②もみの木の日本回国塔**  
回国塔は巡礼者が諸国をめぐる際、奉仕作業として建てたもの。「右みはら・左おのみ」文化13年(1816)と彫られている。



**⑤世良彦八幡宮**  
世羅郡の総社と言われ、銀の道に面している。鎌倉時代の文書に「世良彦社」という記述があり、古くから鎮座していた。



**⑦観音寺の道標**  
宇津戸には、かつての宿場町らしい景観が残り、観音寺の前に石州街道を示す道標が建っている。



**③赤屋八幡宮**  
創建時期は不明だが、鎌倉時代の終わり頃にはあったと推察される。社叢は昭和26年に広島県の天然記念物に指定されている。

**凡例**

- 銀の道(サイクリング)※
- 主な施設
- 駐車場・駐車可能場所
- トイレ(車いす可)
- トイレ
- レストラン・食堂

※銀の道に最も近いと思われる車道をサイクリングコースに設定していますので、本来の銀の道とは異なる場合があります。

「銀の道」の大部分は、地域の皆さんの生活道路です。交通法規を守り、迷惑運転にならない様、注意して運転してください。



**⑧焼石**  
1309年、荘園が領家分と地頭分と分けられた。その境となった所に「焼石」と呼ばれる境界石が残っている。



**⑩高尾の辻堂**  
今でも道行く人の休憩場所として、充分使えるような立派な辻堂。屋根の中心に仏式霊廟の宝珠露盤のような装飾がほどこされている。



**⑨公文の辻堂・常夜灯**  
耕地整理による移転があったと思われる所に、辻堂と常夜灯が建っている。かつては、この辺りに街道が通っていたと思われる。



**⑪御調高校前の常夜灯**  
「金常夜灯」と刻銘されている。旧石見街道に面していたが、昭和初期の道路変更と共に現在の場所に移転された。

**路上にて**  
駅伝と梨の町・世羅でスッキリ!★



「甲山いきいき村」で、ポップなラベルの飲み物を見つけた。その名も「世羅っとした梨 ランニングウォーター」(120円)。駅伝の名門、広島県立世羅高校の生徒たちがネーミングやラベル、味などをプロデュースして共同開発したという。お店の方によると、「スッキリとした飲み口で汗をかいた後にピッタリ」とのこと。売れ行きも好調という。売上の一部は世羅高校の陸上部後援会に寄付されている。地域の人たちの世羅高校に対する思いも詰まった一品だ。

**5**

**世羅** ↔ **御調**

**銀の道 CYCLING MAP**

**荘園の歴史と古寺の伝承、  
ロマンあふれる街道をゆく。**



道の駅「クロスロードみつぎ」